

OB会だより（令和3年12月号）

OB会会員各位

筑紫丘高校ラグビー部OB会
会長 角 博（33回卒）

OBの皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和3年度のOB会活動も残り三カ月余りとなりましたが、令和2年度に続き新型コロナ禍の中、OB会の活動も十分に行うことができない状況が続いております。そのような中、「令和3年度のOB会定期総会」を筑紫丘高校の視聴覚室をお借りし、無事に開催することができました。現役の体力強化への支援、創部80周年や現役遠征費用の積立金などが可決されました。そして2026年には創部80周年を迎えることから、今からその準備をはじめ組織の充実やOB会費の納入率（令和2年度は25%）を向上させていくことが必要であるとの意見が出されました。また2027年の「筑紫丘高校創立100周年」においては、タモリ氏が委員長に就任され今後寄付金集めはもちろんのこと様々な事業が企画されていくものと思いますが、やはりグラウンドの人工芝化がラグビー部そしてOB会の悲願であります。その実現にむけてOB会としても一致団結し全力で支援していかなくてはならないと考えております。OB会員の皆様ご理解とご支援をお願いいたします。

現役におきましては、2021年度の花園予選では、Aシード復帰を目指して大会に臨んでくれました。2回戦では体格で大きく上回る九州産業に対して、低いタックルと早い展開により57対14で圧勝することができました。そしてベスト8をかけた試合では決勝まで進出した修猷館高校と対戦、健闘むなしく春の大会に続き88対7の大敗を喫してしまいました。コロナ禍の中での練習量の不足、合宿や遠征の未実施、試合経験の不足は、個々の能力で劣る筑紫丘高校ラグビー部においては特に大きなハンデキャップとなってしまいました。しかしながら、現役の選手たちは白垣キャプテンを中心に体格差をカバーするために体重増加や体力強化に必死に取り組み、大変厳しい練習環境を乗り越え、筑高ラグビー部の歴史と伝統を継承してくれました。白垣キャプテン以下3年生の皆さんの頑張りにより心から感謝を申し上げたいと思います。

新チームのキャプテンは不老君です。不老君のお父さんはラグビー部が3回目の花園出場を決めた時のキャプテンで、長年ラグビー部の部長そして監督も務めた不老先生（42回卒、現明善高校教頭）です。親子でラグビー部のキャプテンを務めるのは創部以来初めてのことでないかと思っております。

